

# 白倉家古文書

八重原白倉家に関する資料。白倉家は、江戸時代初期に八重原に移り住んだ浪士を出自とすると伝わる。

管理番号		類	公開	所蔵家名	年代				形態	数量	文書名		内容	備考	文書館 受贈受入日
文書	箱				和暦	西暦	月	日			表題	内題			
1	1			白倉直樹家	永禄7年	1558			帳	1	信濃佐久古郷記		地名と人名の記載		R5.12.21
2	1			白倉直樹家	享保6年	1722	4		帳	1	下八重原水掛升寸尺之覚			文政2年の写しか	R5.12.21
3	1			白倉直樹家	宝暦4年	1754			帳	2	渡鑑帳				R5.12.21
4	1			白倉直樹家	文政2年	1818			帳	1	當家寶庫器類記			下総国豊田郡川尻ノ住赤松新右衛門祐範	R5.12.21
5	1			白倉直樹家	明治6年	1873			状	2	議定書 白倉一族(控)				R5.12.21
6	1			白倉直樹家	不詳				帳	1	八重原郷百姓清?之記			系図	R5.12.21
7	1			白倉直樹家	不詳				枚	1	佐久地方絵図				R5.12.21
8	1			白倉直樹家	不詳				枚	1	御領分絵図(小諸領)				R5.12.21
9	1			白倉直樹家	不祥					1	開平早算秘伝				R7.6.3
10	1			白倉直樹家	不祥				袋	1	御種貸帳 八重原村				R7.6.3
11	1			白倉直樹家	不祥				豎半折	1			役行者・蔵王権現の縁起		R7.6.3
12	1			白倉直樹家	大正6年	1917	3	28	豎半折	1	記		しらくら大吉祝儀 記		R7.6.3
13	1			白倉直樹家	明治42年	1909	5	6	豎半折	1	記		病氣見舞	卯、川魚、こぶ、かんぴょう、ぶたにく やまいのとき	R7.6.3
14	1			白倉直樹家	不祥				状	1			書簡 捨作から喜作宛	一筆啓上仕候	R7.6.3

管理番号		類	公開	所蔵家名	年代				形態	数量	文書名		内容	備考	文書館 受贈受入日
文書	箱				和暦	西暦	月	日			表題	内題			
15	1			白倉直樹家	不祥					1			磔刑について 問合せと回答	高崎藩より幕府へ	R7.6.3
16	1			白倉直樹家	天保3年	1832	10	3	状	1			磔刑について 伺いと回答	高崎藩より幕府へ	R7.6.3
17	1			白倉直樹家	不祥					1	口上			口上 一私義、口中の いたみ難儀いたし候所	R7.6.3
18	1			白倉直樹家	不祥				横折紙	1				八重原村の村民名と寺 堂書き上げ	R7.6.3
19	1			白倉直樹家	享保18年	1733			横半長 (折目 下)	1	獄 ワミ 両堰検 地帳			信州佐久群八重原新 田	R7.6.3
20	1			白倉直樹家	宝暦12年	1762	12		横半長	1	八重原村御種貸 ○借帳		御種貸之覚		R7.6.3
21	1			白倉直樹家	承応2年	1653			帳	2	八重原堰見立帳	八重 原村 新田			R7.6.3
22	1			白倉直樹家	不祥				横半長 (折目 下)	1			民間療法や生 活の知恵他の 書留	人の逃げ去るを止む	R7.6.3
23	1			白倉直樹家	承応2年	1653			帳	1	八重原新田 和 美 大獄 両堰名 所			青山印旛守様御代開 発	R7.6.3
24	1			白倉直樹家	承応2年	1653			帳	1	八重原新田 和 美 大獄 両堰名 所			青山印旛守様御代開 発	R7.6.3

当館の資・史料をお使いいただくために。

●白倉家古文書 史資料台帳の分類記号について

●公開については台帳の【公開】欄に明示してあります。

項目	内容
無印 (スペース)	実物を直ぐに閲覧することができます。
非公開	個人情報保護の観点により閲覧することができません。
要検討	個人情報保護の観点により、公開には検討および準備 にお時間をいただきます。
非収蔵	当館移管時には存在せず、非収蔵の史料です。